

実践研修 演習資料

資料名	ページ
演習カリキュラム（タイムスケジュール）	2
演習用事例 水道橋久さん「追加情報」	3
演習用事例 水道橋久さん「サービス等利用計画」	5
演習用事例 水道橋久さん「個別支援計画」	6
メモ	7
実地教育（OJT）としての事例検討の進め方	
事例検討のプロセス（展開例）	8
メモ	9
実践研修のまとめ	
個別支援計画書（参考様式：児童分野）	10
個別支援計画書（参考様式：生活介護）	11
個別支援計画書（参考様式：実地指導）	12
モニタリングの方法	
あなたのプランシート	13

特定非営利活動法人

シーガル研修・研究機構

令和8年度神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者 実践研修

演習カリキュラム(タイムスケジュール)

(時間は予定です。当日の進行状況により変動します。)

1日目	時間	項目
	9:30	事務局アナウンス
	9:40	ガイダンス
	サービス提供に関する講義及び演習	
	10:10	モニタリングの方法(講義・演習) セクション① 人の普遍性の確認
	10:55	休憩(10分)
	11:05	セクション② 人生の価値、生きる糧の確認 セクション③ 関係づくり:利用者との信頼関係をつくる セクション④ 内発的動機「はい／Yes」の重み(自分自身の目標設定)
	12:50	お昼休憩(50分)
	13:40	個別支援会議の運営方法(講義・演習) セクション⑤ 人生の時期 利用者の置かれている日常の確認 セクション⑥ 利用者との関わり 関係性の構築
	14:50	休憩(10分)
	15:00	セクション⑦ 個別支援会議の運営方法(前半)
	17:00	休憩(10分)
	17:10	セクション⑦ 個別支援会議の運営方法(後半)
	18:30	事務局アナウンス
	18:40	1日目終了

2日目	時間	項目
	9:30	事務局アナウンス
	9:40	ガイダンス
	多職種及び地域連携に関する講義及び演習	
	9:45	サービス担当者会議等におけるサービス管理責任者等の役割(講義・演習)
	10:50	休憩(10分)
	11:00	(自立支援)協議会を活用した地域課題の解決に向けた取り組み(講義) サービス担当者会議と(自立支援)協議会の活用についてのまとめ(演習)
	人材育成の手法に関する講義及び演習	
	11:25	サービス提供職員への助言・指導について(講義・演習)
	12:55	お昼休憩(50分)
	13:45	実地教育としての事例検討会の進め方(講義)
	14:55	実地教育としての事例検討会の進め方(演習)
	16:00	休憩(10分)
	実践研修のまとめ	
	16:10	実践研修のまとめ・振り返り
	16:40	効果測定
	17:00	事務局アナウンス 修了証書交付
	17:05	2日目終了

【演習】個別支援会議の運営方法

Section6 「利用者との関わり 関係性の構築・確認」

「水道橋久さん」追加情報

●GH「ピアハウス」サビ管（川崎さん）からの情報

- ・自室で昆虫の動画を見ることを日課にしている。
- ・世話人の鎌倉さんに企業実習の感想を「指導が厳しかった」と漏らしていた。
- ・「スマイル」通所前になるとそわそわすることが多くなった。
- ・休日の昼間は実家のお父様に会いに行くことがある。
- ・ホームでは掃除と洗濯は毎日やっていて、だいぶスムーズにこなせるようになっている。

●父親からの情報

- ・隔週くらいで一緒に外食に行っている。お菓子やケーキが好きで外出時に買い物をしている。
- ・外食時の支払いは本人が工賃で支払いたいと言って払ってくれる。
- ・企業実習にも行き、就職に向けてがんばっているがマナーのプログラムが難しいと話していた。

●過去の記録からの情報

- ・通所開始時から作業能力の高さは評価されていた。
- ・半年くらいすると、疲れがたまってきたせいか、就労に自信が持てない時期があった。
- ・異動してしまった職業指導員の松阪さんとは昆虫の話で盛り上がっていたようだ。
- ・松阪さんとは外出行事で昆虫博物館に一緒に行ったことから仲が深まった。

●最近の記録からの情報

- ・トイレが多くなるのはマナーのプログラムの時間帯だけである。
- ・先月、仲の良い利用者が就職して卒業していったときは本人も喜んでいて。
- ・最近の昼休みの過ごし方は、もっぱら一人で過ごし、(以前は卒業した友達と過ごしていた)スマホで昆虫の動画を見ている。
- ・「時間ありますか？」と何回か職員に訪ねてきたことがあったが、その場で対応が出来なかったため、工程内容を尋ねるが「なんでもないです」と返答があった。

●「スマイル」事業所情報（作業内容およびレクリエーションなど）

- ・カフェ（接客・皿洗い・調理補助等）
- ・組み立て作業
- ・施設外就労活動（近所の運送会社の倉庫内作業・袋詰め作業）
- ・月1回の食事会&誕生会
- ・月1回のスポーツレク
- ・3カ月に1回の日帰り外出
- ・年1回の宿泊旅行

多機能型事業所「スマイル」 の概要

事業所所在地の環境	人口は約 10 万人、人口の約 30%は 65 歳以上の高齢者であり、人口の 5%にあたる約 5 千人が障害者手帳を保持している。 県庁までは自動車で 1 時間、都市圏までは電車で 1 時間程度かかる。 産業は、新都市開発による工場誘致により第二次産業が増加傾向にある。 公共交通機関は地元の鉄道、バスがあるが、自動車が移動手段の中心である。	
地域の社会資源の状況	障害福祉サービス事業は、市内の社会福祉法人や株式会社、NPO 法人等により、就労継続支援 A 型・B 型、生活介護、生活訓練、就労移行支援の各事業が整備されている。 相談窓口として、障がい者相談支援センター1 ケ所、特定相談事業所 8 ケ所があり、障害者就業・生活支援センターは隣市にある。	
地域の地場産業	自動車産業が盛んな地域であり、部品の製造をはじめとした下請け企業が多い。以前は、家内工業の工場がたくさんあり、職親制度等も利用して障害のある人の雇用がされていたが、最近はほとんどが閉鎖・倒産している会社が増えている。	
事業所の概況	多機能型事業所 (就労移行支援事業：定員 12 名／就労継続支援 B 型事業：定員 20 名) 現在の利用者は、身体・知的・精神など多様な障害種別の人が利用している。 水道橋久さんが利用を予定しているグループホームからはバスで 10 分(徒歩ならば 45 分かかる)の距離である。	
職員構成	管理者 1 名 サービス管理責任者 1 名 職業指導員 3 名 生活支援員 2 名 就労支援員 1 名	
日課	* 平日 9:30～16:00 * 土日祝日は休所	
主な作業内容	作業内容	工賃の状況
	カフェ(接客、皿洗い、調理補助等)	時間 200円～400円
	組み立て作業	時間 200円～400円
	施設外就労活動(近所の運送会社での倉庫内作業・袋詰め作業)	時間 400円～580円

演習用事例「水道橋久さん」 サービス等利用計画

利用者氏名	水道橋 久	障害支援区分	区分3	相談支援事業者名	相談支援センターひまわり
障害福祉サービス受給者証番号	000XXX###	利用者負担上限額	0	計画作成担当者	藤沢つき
地域相談支援受給者証番号	000XXX???	通所受給者証番号	000XXX\$\$\$		
計画作成日	20××年 4月 15日	モニタリング期間(開始年月)	20××年 7月	利用者同意署名欄	
利用者及びその家族の生活に対する意向 (希望する生活)	怪我をして働けなくなってしまうった父親に「今まで世話になったので迷惑をかけたくない」という気持ちから、親元を離れてグループホームで暮らしながら、「いずれは普通に仕事をして立派な人になりたい!」と思って就労支援施設に通所をしている。仕事の自信もついてきて就労継続支援B型から就労移行支援に切り替えて、これから本格的に就職活動に取り組んでいきたいと前向きな気持ちでいる。 また「自分のことは自分でできるようにになりたい」ため、グループホームでは生活リズムを意識しながら生活し、掃除や洗濯といった家事にも取り組んでいて、いずれは1人暮らしもしたいと思っている。 以前はふさぎこみがちだったが、最近は以前の趣味を楽しめるようになっており、友人と呼べる相手もできてきた。 父親は本人の前向きな姿勢を応援したい気持ちでいる。				
総合的な援助の方針	引き続き、グループホームでは生活上の様々な経験を積み、1人暮らしについて検討していき、就労移行支援では、本格的な就職活動を支援し、就労の実現を後押しします。 暮らしの中で本人の楽しみを見つけてくれる手助けをし、潤いのある生活を目指します。				
長期目標	① ひとり暮らしに向けた計画を職員と一緒に立てていく。 ② 働く自信を付け、就職活動に取り組む。 ③ 気の合う友人をつくり、休日を楽しむ。				
短期目標	① グループホームで自炊の練習に取り組む ② 企業実習などに積極的に参加していく。 ③ 日中活動や休日で楽しめることを増やしていく。				
優先順位	解決すべき課題 (本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等	
				種類・内容・量 (頻度・時間)	提供事業者名 (担当者名・電話)
1	掃除や洗濯ができるようになってきたので、次は料理にもチャレンジしたい。	自分で掃除と洗濯を継続しながら、自炊もできるようにする。	12ヶ月	共同生活援助 毎日	ピアハウス サービス管理責任者 川崎 生活支援員 海老名 世話人 鎌倉
1	仕事の力をつけて、就職したい。	実際の就労を想定した作業環境も体験し、具体的な仕事のイメージを持つ。	12ヶ月	就労移行支援 月～金	スマイル サービス管理責任者 横浜 職業支援員 綾瀬
3	楽しみを増やしていきたい。	日中活動や休日の時間に今まで以上に楽しめることを増やし充実した余暇を過ごす。	12ヶ月	共同生活援助 就労移行支援 相談支援事業所	ピアハウス 川崎 スマイル 横浜 ひまわり 藤沢
4					

演習用事例「水道橋久さん」個別支援計画

利用者名 水道橋久 様

作成年月日: 年 月 日

総合的な援助の方針	引き続きグループホームでは生活上の様々な経験を積み、1人暮らしについて検討していき、就労移行支援では、本格的な就職活動を支援し、就労の実現を後押しします 暮らしの中で本人の楽しみを見つける手助けをし、潤いのある生活を目指します
-----------	--

長期目標(内容、期間等)	・働く自信がつき就職活動に取り組んでいる
短期目標(内容、期間等)	・一般就労して立派な人となるため、職場体験に積極的に参加する

具体的到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先 順位
仕事の力をつけて、就職したい。	企業実習などを通じて、さらに働く自信を付けていきましよう。	希望職種を踏まえ、より多くの体験が出来るよう企業実習を調整します。 実習中は様子を確認して不安なく進められるようにします。	3ヶ月 頻度:月1ヶ所 実習期間:1週間前後	横浜(サビ管) 綾瀬(職業指導員)	1
	社会人として必要なマナーや得意なスキルを身につけていきましよう	就職を見据え、マナーや希望職種のスキルが身につくプログラムの提供します。	3ヶ月 月～金 週5日	横浜(サビ管) 綾瀬(職業指導員)	2
楽しみを増やしていきたい。	自分の楽しいことを話して、これまで以上に余暇の楽しみを見つけていきましよう。	楽しいこと、困ったこと心配事があった時はいつでも話を聞きます。	面談:月末に1回 13時～ 困った時・不安な時はいつでも	横浜(サビ管) 綾瀬(職業指導員)	3

メモ

事例検討のプロセス（展開例及び当研修での時間配分）

プロセスおよび内容	時間	演習時間
①出席者自己紹介、役割の確認（提供者、司会、記録、SV・・・） 初出席者やゲストがいる場合、所属、役職等簡単な紹介を行う。	5 分	省略
②事例紹介 提出意図を明確にし、簡潔に紹介。 人物や環境だけでなく、総合的な援助方針やニーズが掴みづらいなど、端的に述べる。	5 分	5 分
③人物像や環境を共有する質問、ストレングスに関する質問（質疑のポイント等を参照） 事例の人となり、支援の状況、周囲との関係性など、基本的な内容について確認し、対象者像の共有を図る。質問に答えられない、アセスメントができていないことは、はっきりと「分からない」と伝える。出席者の視野を広げるため、ストレングスに関連する質疑を通じて、マイナスの印象をプラスに転化（リフレーミング）するヒントを探る。エンパワメントにつながる、動機を探ることも重要。	15 分	15 分
④ストレングスの整理（整理表への抽出） 「①性格・人柄/個人的特性②才能・素質③環境④興味・関心/向上心」4つの項目に当てはまるように、③で確認された事実をリフレーミングしながらストレングスとして抽出する。今後の方向性へのアイデアを意識することも重要。	10 分	10 分
⑤今後の方向性の確認 提供者に事例の提出意図を再確認し、参加者にてこれからの支援の方向性について、どう考えて、どう動くか、なるべく具体的なアイデアを提出しあい検討する。最後に提供者が具体的に何を行うかを選び、今後の方向性を決定することも重要。	15 分	15 分
⑥事例提供者から感想 事例検討を通じて、事例提供者が振り返ったこと、⑤の検討で今後取り入れたい支援方法、今後の方向等の感想を述べる。	5 分	5 分
⑦参加者の感想（※研修などで必要な場合に行う。）	5 分	5 分
⑧スーパーバイザーからの助言（※スーパーバイザーとなる人が出席している場合に行う。）	5 分	省略
	65 分	55 分

参考資料：『ストレングスモデルにおける障害者ケアマネジメントマニュアル』（中央法規）

【人物像を確認するための質疑のポイント】

- ①簡潔に、分かりやすく、短く、事例提供者の提出理由に沿った質問する。
- ②質問は一つずつする。複数の質問をする場合、関連する質問を少しずつ重ねて質問することも大切。
- ③質問する際は、自らの感想や主観、意見等は交えず、現状に着目した答えを導くような質問をする。

【人物像を確認するための質疑の順序】

- ①基本情報（人柄、身体状況、家族構成、生活歴、人間関係等）
- ②経過情報（出来事の展開、実際の場面の確認等）
- ③支援情報（具体的に行われた支援内容、その経過や結果、援助方針、関係機関の関わり等）

【事例提供者について】

- ④⑤について、事例提供者は発言せず、書記又は見学に徹する。

メモ

個別支援計画書

利用児氏名：

作成年月日： 年 月 日

利用児及び家族の生活に対する意向	
総合的な支援の方針	
長期目標 (内容・期間等)	支援の標準的な提供時間等 (曜日・頻度、時間)
短期目標 (内容・期間等)	

○支援目標及び具体的な支援内容等

項 目	支援目標 (具体的な到達目標)	支援内容 (内容・支援の提供上のポイント・5領域(※)との関連性等)	達成 時期	担当者 提供機関	留意事項 (本人の役割を含む)	優先 順位

※5領域の視点「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」

提供する支援内容について、本計画書に基づき説明しました。

本計画書に基づき支援の説明を受け、内容に同意しました。

児童発達支援管理責任者氏名：

年 月 日 (保護者署名)

押印廃止

個別支援計画書

利用者及び家族の生活に対する意向	
総合的な支援の方針	
長期目標 (内容・期間等)	支援の標準的な提供時間等 (曜日・頻度、時間)
短期目標 (内容・期間等)	生活介護は記入必須 (生活介護の記載例) ・ サービス提供時間 4 時間 ・ 送迎に係る配慮 1 時間 ・ 障害特性に係る配慮 30分 ・ 送迎時の移乗等 30分 ----- 合計のサービス提供時間 6 時間

○支援目標及び具体的な支援内容等

項目	支援目標 (具体的な到達目標)	支援内容 (内容・支援の提供上のポイント等)	担当者 提供機関	留意事項 (本人の役割を含む)	優先 順位
支援をカテゴリー化して記載する等の工夫に使用。		使い方は任意だが、左に支援内容、右側にポイントを書く等。			

提供するサービス内容について、本計画書に基づき説明しました。

本計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意しました。

サービス管理責任者氏名： 年 月 日 (利用者署名) 押印廃止

個別支援計画

参考: 神奈川県サビ児管研修検討部会より

作成年月日: 年 月 日

利用者氏名: _____

計画実行期間: 年 月 日 ~ 年 月 日

【サービス, 利用計画の総合的な方針】

【ご本人の希望や願い(到達目標)】

【長期目標(内容・期間等)】

【短期目標(内容・期間等)】

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援機関 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先 順位

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

作成者:

サービス管理責任者氏名

印

印

利用者氏名:

説明日: 年 月 日

説明者: _____

ヒアリングメモ

様のプランシート

長期目標		
理由（なぜ大事なのか）		
小目標	何から始めるか（具体的に）	いつまでに
1.		
2.		

※小目標は1週間から10日間程度で達成可能なものとします。

プランシートの採点

